

通し番号	4342
------	------

分類番号	19-7B-22-17
------	-------------

(成果情報名) 国産採卵鶏の組合せ検定 (平成18年え付け鶏の成績)
[要約] 優良な国産鶏を作出するため、外国鶏(ボリスブラウン)を対照鶏として、系統間交雑種である国産鶏YA×LAの4つの系統(産卵系、卵重系、濃卵殻色系、淡卵殻色系)について能力検定を実施した。国産鶏YA×LAは、生産性、卵質が外国鶏と同程度と良好であった。また、YA×LAの産卵系では産卵率等の生産性が優れており、淡卵殻色系では卵殻色が淡い褐色であり、それぞれの系統の特徴も認められた。
(実施機関・部名) 神奈川県畜産技術センター 畜産工学部 連絡先 046-238-4056

[背景・ねらい]

現在、国内で飼養されている採卵鶏のほとんどが海外で作出されており、食料の安定供給の観点から、平成17年に策定された家畜改良増殖目標のなかで国産鶏の改良増殖が重要な課題となっている。系統を保有しない本県だけで採卵鶏の改良は難しいことから、組合せ検定を通して、(独)家畜改良センターや他県と連携することで高能力な国産鶏の実用鶏の改良が可能となる。

[成果の内容・特徴]

- 1 産卵率は、産卵系区が高く淡卵殻色系区が低かった(表1)。
- 2 平均卵重は、淡卵殻色系区が重く対照区と濃卵殻色系区が軽かった(表1)。
- 3 飼料要求率は、産卵系区が卵重系区より優れていた(表1)。
- 4 卵質は、ハウユニット、卵殻強度等には有意な差はなかった。また、卵殻色では、淡卵殻色系区は、対照区と比較して、L値が大きく $a^*$ 、 $\Delta e$ が小さかったことから、卵殻色が淡い褐色であった(表2)。

[成果の活用面・留意点]

- 1 外国鶏と生産性及び卵質の比較をしながら国産鶏の能力向上を行っていく。
- 2 本県に適した系統の組合せを確立していく。

[具体的データ]

表 1 生産性の成績(20~72週齢)

項 目	対照	産卵系	卵重系	濃卵殻色系	淡卵殻色系
産卵率 (%)	86.0 <sup>ab</sup>	87.3 <sup>b</sup>	84.5 <sup>ab</sup>	85.9 <sup>ab</sup>	82.8 <sup>a</sup>
平均卵重 (g)	61.7 <sup>a</sup>	62.2 <sup>ab</sup>	62.5 <sup>ab</sup>	61.9 <sup>a</sup>	63.0 <sup>b</sup>
日産卵量 (g)	53.0	54.2	52.8	53.1	52.1
飼料摂取量 (g)	109.8	110.2	113.0	109.7	110.5
飼料要求率	2.08 <sup>ab</sup>	2.04 <sup>a</sup>	2.15 <sup>b</sup>	2.07 <sup>ab</sup>	2.13 <sup>ab</sup>
生存率 (%)	97.5	95.0	91.7	94.2	95.0

※ 同一項目内において異符号間に有意差あり (p<0.05)

表 2 卵質の成績(36、50、64、78週齢時)

項 目	対照	産卵系	卵重系	濃卵殻色系	淡卵殻色系
ハウユニット	80.1	78.3	78.8	79.0	78.4
卵殻強度(kg)	3.89	3.61	3.83	3.70	3.65
卵殻厚 (mm)	0.361	0.354	0.364	0.367	0.368
卵殻重 (g)	5.83	5.80	5.99	6.01	6.08
肉斑(%)	31.0	29.5	28.0	19.00	26.0
卵殻色 :					
L*値	61.2 <sup>a</sup>	61.7 <sup>a</sup>	62.0 <sup>ab</sup>	63.2 <sup>bc</sup>	64.1 <sup>c</sup>
a*値	16.4 <sup>c</sup>	16.2 <sup>c</sup>	16.1 <sup>bc</sup>	15.5 <sup>ab</sup>	15.0 <sup>a</sup>
b*値	28.2 <sup>b</sup>	28.1 <sup>ab</sup>	27.7 <sup>ab</sup>	27.3 <sup>a</sup>	27.4 <sup>ab</sup>
b*値	28.2 <sup>b</sup>	28.1 <sup>ab</sup>	27.7 <sup>ab</sup>	27.3 <sup>a</sup>	27.4 <sup>ab</sup>
Δe値	50.2 <sup>c</sup>	49.7 <sup>c</sup>	49.2 <sup>bc</sup>	47.9 <sup>ab</sup>	47.1 <sup>a</sup>

※ 同一項目内において異符号間に有意差あり (p<0.05)

[資料名] 平成19年度試験研究成績書 (繁殖工学・養豚・養鶏)

[研究課題名] 生産性の高い国産鶏の作出

[研究期間] 平成18~19年度

[研究者担当名] 平原敏史